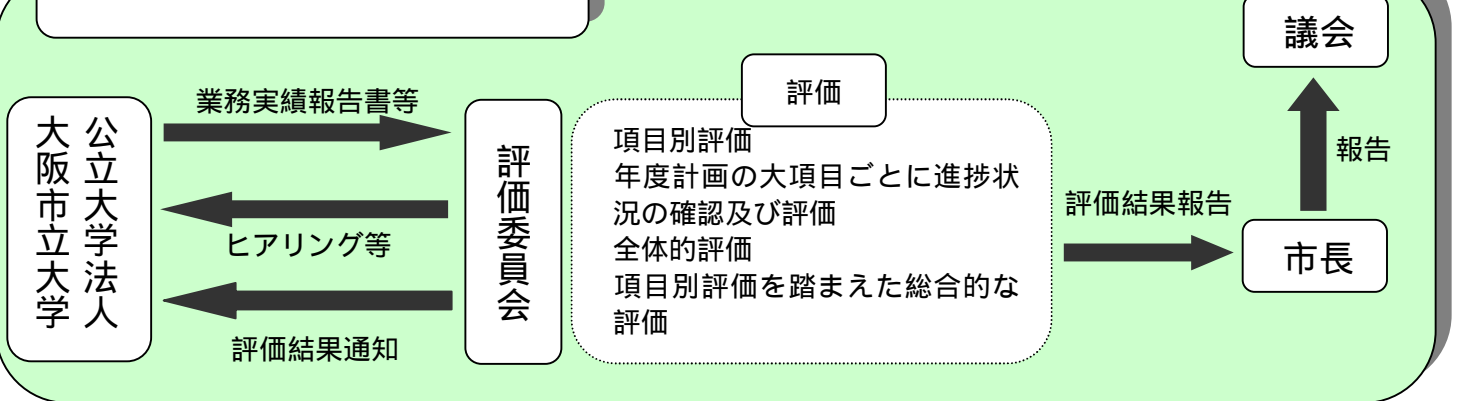


平成18年度公立大学法人大阪市立大学の業務実績に関する評価結果の概要

評価にあたって

大阪市公立大学法人評価委員会は、地方独立行政法人法第28条の規定により、平成18年度の公立大学法人大阪市立大学の業務実績評価を実施
 法人の自律性、大学の教育・研究の特性に配慮
 中期目標の達成に向けた中期計画の進行状況を確認し、わかりやすく社会に提示
 法人運営の改善・向上に資するべく、総合的・客観的に評価

評価の流れ



項目別評価：各項目とも「順調に進んでいる」

：主な特筆事項
 ：主な意見・指摘事項

- 1 教育研究等の質の向上を達成するための措置
 新司法試験における大学別合格率で関西地区第1位の実績
 ネイティブスピーカーが担当する少人数教育の実践的英語カリキュラム
 都市研究プラザを開設し、都市の問題に関する各種プロジェクト等の活動を推進
 平成19年度にグローバルCOEプログラム採択
 21世紀COE採択の3プログラムの着実な進行
 健康・予防医療ラボラトリーにおける共同研究プロジェクトにより、製品化が実現
 医薬品・食品効能評価センターにおいて、大学として全国初の食品効能試験実施
 病院長を専任化・法人理事、看護部長を副院長とし、病院運営体制の強化
 全てのシラバス・シーズ集のホームページ掲載等、社会への一層の公開・PRが必要
 各学部等において、より積極的なFD（大学教員の能力や資質の開発）活動が必要

- 2 業務運営の改善及び効率化に関する措置
 教育推進本部・研究推進本部・地域貢献推進本部の3本部体制の確立
 インセンティブが働くような法人独自の人事・給与制度の推進が必要
- 3 財務内容の改善及び効率化に関する措置
 複数年契約の導入等による経費節減、資金の効率的運用
 安定的な収入確保、医学部附属病院の一層の経営改善が必要
- 4 自己点検・評価及び当該情報の公開等に関する事項
 教育担当副学長を長とする全学評価委員会の設置
- 5 その他業務運営に関する重要事項
 広報担当理事を長とする全学的な広報体制の整備
 施設整備は大阪市の協力も得ながら、計画的に進めていくことが必要

全体的評価：「順調に進んでいる」

- ・法人化初年度において、理事長以下、役員・教職員が一体となった大学運営を推進し、さまざまな実績をあげている
- ・引き続き、学生・社会人の受入れ体制充実のための、時代に即した学部・学科再編や広報活動の強化等に組織的・戦略的に取り組み、魅力ある大学づくりを進めていくことが必要である

結び

- ・今後、経営戦略の明確化やPDCAサイクルの確立・推進を図り、法人化の成果の具現化を着実に進めていく必要がある
- ・教育・研究等の向上、法人の業務運営の改善等、大学の一層の活性化と発展のために評価結果の最大限の活用を期待する